

村山新団長(左)と三好前団長(右)と握手を交わす様子



平成24年宇美町消防団交替式

4月1日(日)、宇美中学校グラウンドにおいて、平成24年宇美町消防団交替式が行われました。春の日差しが注ぐ中で行われた今年の交替式では、宇美町の安全や安心に尽力され、2年間の任期を終えられた三好諭治前団長をはじめ、退団された各分団の分団長や団員に感謝状が贈られました。三好前団長の後任として新団長には村山聖団長が就任されました。村山団長は「宇美町消防団の伝統を引き継ぎ、頑張っていきます」と話されていました。また交替式の最後には、伝統技術の消防太鼓、纏振り、梯子乗りも披露され、会場からは大きな歓声と拍手が送られていました。

平和を祈り… 戦没者合同慰霊祭が行われました

4月6日(金)、宇美公園において、宇美町戦没者合同慰霊祭が行われました。晴天に恵まれ、桜も満開の中、遺族の方や町の関係者が参列しました。式典では、犠牲者の冥福を祈るとともに、悲惨な戦争を忘れることなく、恒久に平和であることを願いました。



慰霊碑に向かい、犠牲者の冥福を祈る遺族の方々

井野山の頓宮まで歩きました



宇美八幡宮子安祭が行われました!!

4月15日(日)、宇美八幡宮子安御神幸行列が晴天の中行われました。子ども達の健やかな成長を願い2年に一度行われるこの行列には、町内外から多くの人々が参加し、華やかな衣装を着た子ども達が、保護者の方に手を引かれながら、宇美八幡宮から井野山の頓宮までを元気に歩きました。

大きく育て! ひまわりの花~「人権の花」運動~

4月20日(金)に、原田小学校の3年生93名が、人権擁護委員の安川一馬さん、原田小学校区花ボランティアの12名の方々とともに人権の花ひまわりを植えました。花ボランティアの皆さんによって耕された花壇の土の柔らかさに歓声を上げながら、1人1人が丁寧に種を植えました。児童の1人は「ひまわりが元気に育つように、水やりや草取りを頑張ります」と話していました。この運動は、主に小学生を対象とした啓発運動で、昭和57年度から実施されています。その内容は、配布された花の種子、球根などを、児童が協力しながら育成することを通して、協力、感謝することの大切さを学ぶとともに、情操を豊かにし、やさしい思いやりの心を体得させ、人権思想をはぐくむことを目的としています。



花ボランティアの皆さんに教わりながら、種の植え付けを行う児童達

ドキドキの1年生~入学式が行われました~



名前を呼ばれ、返事をする新入生(桜原小)



新入生代表の挨拶をする1年生(宇美東中)

町内の中学校(4月10日)、小学校(4月11日)において、入学式が行われ、今年度は小学校381名、中学校366名の新入生が入学しました。中学校では、まだ少し大きい制服に身を包み、少し緊張した面持ちの1年生の姿が印象的でした。小学校では、6年生に手を引かれて入場したかわいらしい1年生が、担任の先生から名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。

明治バイソン、ひばりが丘チェリオが1、2フィニッシュ! ~第17回玄海グリーンリーグ新人カップ2012~

3月10日(土)、17日(土)に「第17回玄海グリーンリーグ新人カップ2012」が福岡市西区の玄洋高校グラウンドで行われ、44チームが参加して熱戦を繰り広げました。この大会で、宇美町スポーツ少年団所属の明治バイソンが優勝、ひばりが丘チェリオが準優勝に輝きました。優勝した明治バイソンの副主将の城谷優哉君(原田小6年)は、「強豪チームを相手に苦しい試合だったけど、みんなで力を合わせて優勝することができました。これからの大会も優勝目指して日々練習を頑張ります」と話してくれました。



金メダルを手に笑顔の選手達

昭和の森山開きが開催されました!!

山開きにちなんだ一口仁和加が披露されました



4月29日(祝)に昭和の森において、今年1年の安全を願う安全祈願祭と宇美町商工会主催の山開きイベントが行われました。2年ぶりの開催となった山開きイベントでは、宇美町商工会、宇美町青年団によるふるまいや、博多仁和加等のステージ、各種団体による展示等、数多くの団体による催しが行われ、訪れた方々を楽しませていました。また、「昭和の森会場と須恵町のつつじ祭り会場を結ぶウォーキング」も同時開催され、こちらも多くの参加者でにぎわいました。

宇美八幡宮春季大祭奉納弓道大会が開催されました!!

4月15日(日)、福岡近隣のシニア弓道愛好家の方達が集まり、「宇美八幡宮春季大祭奉納弓道大会」が宇美町体育協会弓道部の主管で開催されました。当日は好天に恵まれ、最高齢86歳の選手2名をはじめ、80歳代の選手5名を含む82名が参加しました。射会等の開会時に行われる矢渡しは、最高齢者の教士六段柳泰夫先生、介添え五段藤木京子氏、四段清水澄子氏で行われ、競射会では、日頃の稽古の成果を十分に発揮しようと、無心に的を見つめ、次々に矢を放ち的の音を楽しむ選手の姿が見られました。



真剣なまなざしで見つめる選手